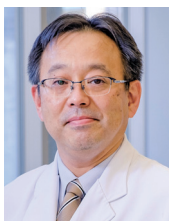


がんセンター



1. スタッフ
センター長 (教授)
のさか きさと
野坂 生郷

事務補佐員 1 名

○がんセンター内実務機関

(1) 外来化学療法センター

外来化学療法センター長 (専従教授) 野坂 生郷
専従医師 2 名
専任薬剤師 2 名
がん看護専門看護師 1 名 (専任)
がん化学療法看護認定看護師 1 名 (専従)
看護師 14 名 (専従)

(2) がん登録センター

がん登録センター長 (兼教授) 中村 太志
診療情報管理士 3 名 (専従)
事務補佐員 (パート職員) 1 名 (専従)

(3) がん相談支援センター

がん相談支援センター長 (兼教授) 野坂 生郷
がん看護専門看護師 1 名 (専従)
がん専門相談員 1 名 (専従)
社会福祉士 1 名 (専任)

(4) 緩和ケアセンター／緩和ケアチーム

緩和ケアセンター長 (専従教授) 吉武 淳
身体症状緩和担当医師 2 名 (専任)
精神症状緩和担当医師 2 名 (兼任)
緩和ケア認定看護師 1 名 (専従)
がん看護専門看護師 1 名 (専従)
がん性疼痛看護認定看護師 1 名 (専従)
がん看護専門看護師 1 名 (兼任)
公認心理師 2 名 (専従 1 名、兼任 1 名)
薬剤師 1 名 (専任)
他に兼任メンバー 20 名 (詳細は業務内容参照)

(5) がんゲノムセンター

がんゲノムセンター長 (兼教授) 野坂 生郷
がん看護専門看護師 (がんゲノム医療コーディネーター) 1 名 (兼任)
事務補佐員 (ゲノムデータリサーチコーディネーター) 1 名 (専従)
他、兼任メンバー (医師・薬剤師等)

2. がんセンターの特徴、診療・業務内容

当院は熊本県のがん診療連携拠点病院であり、がん対策基本法に基づくがん診療の均てん化のために他の地域がん診療連携拠点病院を教育・指導する立場にある。がんセンター (以下当センター) は熊本県がん診療連携拠点病院の腫瘍センターとして機能し、外来化学療法センター、がん登録センター、がん相談支援センター、緩和ケアセンター、がんゲノムセンターの 5 つの実務機関で構成されている。また、当センターは審議機関としてがん化学療法レジメン審査専門委員会を有し (委員長: 外来化学療法センター長)、院内で行なわれる抗癌化学療法レジメンを審査し、薬剤部と協力して実際に行われる化学療法が安全かつ最大限有効に行なわれるように指導する。

(1) 外来化学療法センター

外来化学療法センターは外来で抗がん剤治療を行う全ての診療科の患者を対象とし、安全かつ有効な外来薬物療法を遂行することを目的に活動を行っている。併せて抗がん剤の適正使用に関する教育及び啓発に取り組んでいる。日常生活を継続しながら外来で抗がん剤治療を無理なく受けていただくという観点から、『より快適な環境で、最短時間で、安全安楽な薬物療法を』というモットーを挙げ、医師・看護師・薬剤師・栄養士・診療報酬指導室をはじめとする事務部門など関連する全ての職種が連携し

て、効果的にチーム医療を実践している。

(2) がん登録センター

がん登録センターは当院の院内がん登録を推進し、国 (国立がん研究センター) や県 (熊本県地域がん登録) ヘデータの提供を行っている。また 2016 年から施行された「がん登録等の推進に関する法律」に基づいた、全国がん登録の国への提出も担当している。その他に、熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会の一員として、熊本県下のがん診療連携拠点病院等のがん登録を指導・助言し、その一環として毎年、がん登録部会参加 24 施設等を訪問 (2023 年度は 2 施設をリモートにより実施) し、情報交換を行っている。詳細は下記 URL をご参照下さい。

(<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/cmc/cancer/images/shisetsu.pdf>) さらに、部会参加施設から収集したデータで毎年統計を作成している。一方、国立がん研究センター主催のがん登録部会全国版組織である都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の部会員として、がん登録センター長と診療情報管理士 1 名が活動している。

(3) がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がんに関する治療や症状の相談、社会資源の活用や経済的問題に関すること、就労・就学支援、さらに地域との連携など多岐にわたった相談に対応している。また、ピアランスケアやがんサロンの支援も行っている。

(4) 緩和ケアセンター／緩和ケアチーム

平成 26 年 9 月に、がんセンターの下に緩和ケアセンターを設置した。緩和ケアチームは、身体症状や精神症状、仕事や生活など社会的な問題が少しでも改善出来るように様々な職種がチームとして活動・支援を行っている。

(5) がんゲノムセンター

当院はがんゲノム医療拠点病院であり、院内で行われるがん遺伝子パネル検査を統括し、検査の説明や同意取得、検査で得られた結果の解釈、エキスパートパネル (最終判定会議) の開催などを行っている。がん遺伝子パネル検査の対象は、標準治療終了後の患者であることが多いため、外来・病棟のスタッフとも連携し、患者や家族が納得する検査が実施されるよう努めている。

3. 診療体制

上述の如く、がんセンターは 5 つの実務機関の統括がその主な業務であるため、実際の診療に直接関与することはない。しかしながら、診療科横断的・職種横断的の判断が求められるがん患者の診療に関しては院長の許可のもととがんセンターを開催に診断方法や治療方法について検討することがある。

(1) 外来化学療法センター

がん看護専門看護師およびがん化学療法看護認定看護師の資格を有する看護師長と副看護師長を中心に 14 名の専従看護師を配置している。レジメンオーダーは各診療科で行っているが、場合によっては、専従医師が代行している。血管確保や CV ポートの穿刺については、専従医師の管理の下、CV ポートインストラクターを中心に行っている。抗がん剤の調製は薬剤部で無菌調剤され、その内容については内服薬も含めて専任薬剤師によって、何重ものチェック機構を経て投与される。外来化学療法センターの運営に関しては、3 ヶ月毎に審議機関である外来化学療法専門委員会課題とその改善策について討議する。

(2) がん登録センター

がん登録担当は 4 名で、院内の診療情報からがん登録対象患者を抽出し、各診療科とコミュニケーションをとりながら院内がん登録に必要な項目の収集を行っている。各診療科より依頼がある際には、データを提供し、臨床研究に協力する活動も行っている。がん登録センターの運営に関しては、審議機関であるがん登録専門委員会課題とその改善策について討議している。

(3) がん相談支援センター

がん看護専門看護師、がん専門相談員、社会福祉士の 3 名が、がん患者および家族のもつ悩みや相談に対応している。がんに関する相談および情報提供を、院内外問わず対面や電話、オンラインにて行っている。さらに、相談室近くに情報提供コーナーを設

け、がんの疾患や治療に関する冊子を設置、また患者・家族、医療者向けの講演会などのポスターを掲示し情報提供を行っている。

(4) 緩和ケアセンター／緩和ケアチーム

身体症状緩和担当医師2名・精神症状緩和担当医師2名・がん看護専門看護師である看護師長1名、がん性疼痛看護認定看護師である副看護師長1名、緩和ケア認定看護師1名および、がん相談支援センター3名、公認心理師2名を含む30名のチームメンバーが、各診療科の医師・看護師・薬剤師のチーム協力員の協力を得て活動している。チームの主な活動内容はコンサルテーション活動で、チームメンバーは各診療科の医師・看護師から依頼を受け、患者（可能であれば家族と共に）と面談し苦痛症状の緩和、家族のサポート、スタッフのサポートなどを行なっている。身体症状担当医師および精神症状担当医師・専門認定看護師によるがん看護外来で、外来の患者と家族の支援をしている。入院・外来中にチームメンバーが関与した緩和ケア対象患者については、毎週火曜日午前10時30分より病棟回診を、午後5時00分よりカンファレンスを行い、緩和ケアの内容や対応方法を検討している。また、熊本県内のがん診療連携拠点病院の病院訪問やオンライン病院訪問を継続し緩和ケアセンターの顔の見える関係構築に努めている。

(5) がんゲノムセンター

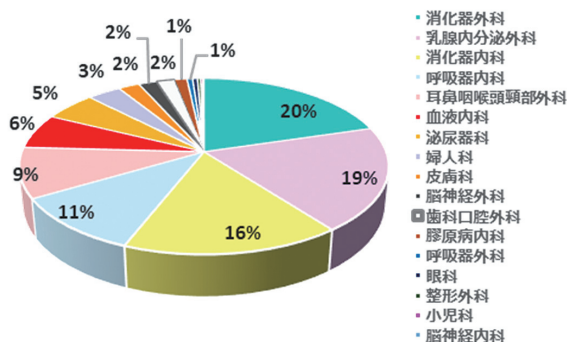
診療科で行われるがん遺伝子パネル検査の同意取得に際し、検査の手続きや費用負担などについて、事務担当者が詳細な説明を行っている。また、他院からの紹介例については、がんゲノムセンターが診療科への橋渡し役となり、患者が十分に理解し納得したうえで検査に臨むよう対応している。検査により得られる遺伝子変異情報や治療薬の情報から、薬剤部・病理部・遺伝診療センターなどと連携し、患者に最適な治療の検討を行っている。

4. 診療実績

(1) 外来化学療法センター

当センターは20床で運用しており、16の診療領域での治療を行っており（図1）、令和5年の年間総利用件数は、8,425人であった。更なる安全性と質の向上のために、外来化学療法専門委員会にて課題を検討している。CV ポートインストラクターによるCVポート穿刺を実施しており、1,701件中1,157件（68%）が看護師によるCVポート穿刺であった。

図1. 令和5年度各診療科別利用状況



(2) がん登録センター

院内がん登録では、当該病院において初めてがんと診断された症例や初めてがん治療を行った症例が登録されることになっている。このため、がん登録センターの業務は、①入院・外来患者からがん登録対象症例を検索、②対象リストとして診療科へ配布、③がん登録の対象症例を診療科医師の協力の下、収集し登録、④統計データの解析と資料作成、病院ホームページへの掲載

(<http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/cmc/center/touroukushitsu.html>) ⑤国立がん研究センターや熊本県へのデータ送付、⑥その他、熊本県がん診療連携協議会幹事会ががん登録部会関連業務など多岐にわたる。2023年度実績は以下の通りである。

表1. 院内がん登録提出関連件数

	R04(2022)年度	R05(2023)年度	
提出症例（全国がん登録）	3,369件	3,634件	※注1
提出症例（院内がん全国集計）	3,355件	3,634件	※注2
提出症例（5年予後付き）	3,058件	収集なし	※注3
提出症例（10年予後付き）	2,679件	2,900件	※注4
提出症例（QI研究）	3,241件	3,355件	※注5
登録症例	4,106件	4,127件	※注6
登録対象調査件数	14,501件	12,658件	※注7

■表1のR04（2022）年度は参考

※注1：2022年（2022/01/01～12/31）診断症例を、がん登録等の指針に関する法律に基づいた「全国がん登録」として熊本県（国の委託先）へ提出。

※注2：2022年（2022/01/01～12/31）診断症例を「がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計」として国立がん研究センターへ提出。

※注3：令和5年度収集なし。

※注4：前年度の予後調査を経て2011年（2011/01/01～12/31）診断症例の10年予後付き情報として国立がん研究センターへ提出。

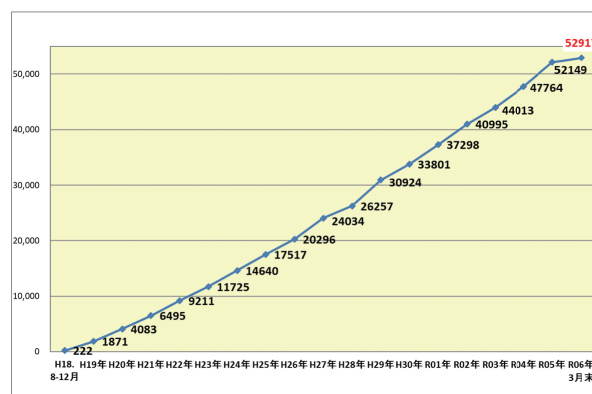
※注5：Quality Indicator（QI）は診療の質指標と訳され、がん対策基本法の目標とするがん診療の標準化のため、日本全国でどの程度標準診療が普及しているかを把握するツールである。がん医療の実態を把握するとともに、その活用法を検討することを目的として、2021年（2021/01/01～12/31）診断症例の院内がん登録データと2020年10月から2023年3月までのDPC（Diagnosis-Procedure Combination）と呼ばれる、診療データを国立がん研究センターへ提出。

※注6：当該年度に何らかの登録が行われた件数。未完成分、対象外となったものも含む。また医師による直接登録とがん登録担当が確認登録した件数の合計である。

※注7：院内の医療情報から登録すべき対象症例を探し、対象候補リストを診療科へ配付。2023年度は、12,658件中3,782件が2023年症例候補として挙がった。登録すべき対象症例とは「当該年において当院でがん等で初診の症例（診断や治療を行った方）」であり、厚生労働省より通知された「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」の定義に沿ってデータの収集を行っている。

この他にも国立がん研究センターで実施している、「希少がん情報公開プログラム」（同センターホームページ内に希少がんの診療実績等を公開する平成30年度より開始された事業）への参加もしているが、令和5年度については依頼がなかったため、提供していない。一方、「がん対策の進捗管理のための患者体験診療調査（第3回患者体験調査）」（平成26年より国の委託により国立がん研究センターが実施している、がん患者等に対するアンケート調査）については、依頼があったため参加した。

図2. 年別院内がん登録件数（累計）



病名	2021年症例	2022年症例
口腔咽頭	274	316
食道	224	240
胃	182	176
大腸	247	253
肝臓	167	178
膵臓	98	121
喉頭	51	39
肺	337	393
骨軟部	40	32
皮膚	198	202
乳房	290	314
子宮	193	171
前立腺	139	167
腎尿路	80	119
膀胱	44	61
脳脊髄	213	248
甲状腺	118	112
悪性血液	214	241
その他	244	251

事業区分	2023年度	2022年度
ホスピタリティコア	1243	1064
接客員、生体員、社会福祉制度	688	771
住宅設備	618	803
不動産管理・運営	385	418
顧客案内係	205	231
総務	205	127
おんのお嬢	193	156
広報、総務、基幹	179	157

診療科	消化器外科	乳腺・内分泌外科	血液内科	耳鼻咽喉科	消化器内科	泌尿器科
患者数	62	54	50	48	47	42
診療科	歯科口腔外科	脳神経外科	婦人科	皮膚科	呼吸器内科	化学療法センター
患者数	41	38	35	30	26	15
診療科	脳神経内科	小児科	整形外科	循環器内科	心臓血管外科	腎臓内科
患者数	13	7	7	7	6	5
診療科	呼吸器外科	代謝内科	放射線診療科 糖尿病・代謝・内分泌外科	整形外科内科 糖尿病・代謝・内分泌外科	その他	
患者数	5	3	6		6	

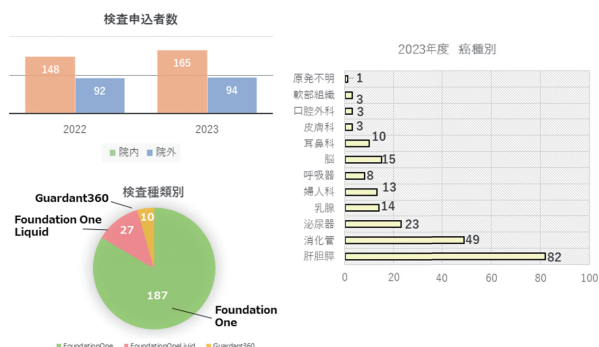
診療科	乳腺・内分泌 外科	耳鼻咽喉科	化学療法 センター	婦人科	泌尿器科	消化器 内科
患者数	28	16	15	11	11	9
診療科	消化器外科	歯科口腔 外科	皮膚科	神経外科	血液内科	呼吸器 外科
患者数	9	8	5	5	3	3
診療科	呼吸器内科	代謝内科	整形外科/循環器内科 放射線治療科/移植外科			
患者数	2	2	4			

(5) がんゲノムセンター

熊本大学病院で実施した遺伝子パネル検査

2023年度申込数は259件

うち検査結果受領済件数：224件（2024年5月末時点）



5. 臨床試験・治験の取組

がんセンターでの臨床試験の取組としては、甲状腺癌患者に対するレンパチニブの投与を行う全国規模の観察研究に参加中であり、多数の患者を登録しつつある。また、外来化学療法センターでは各診療科が施行している臨床試験・治験の患者への実際の薬剤投与を行っており、専任医師・看護師・薬剤師がそれぞれの臨床試験・治験の内容を理解し、患者対応を行うなど協力している。

6. 地域医療への貢献

熊本県が策定しているがん対策アクションプランに全面的に協力すべく、がんセンターのメンバーは熊本県がん診療連携協議会あるいは他のがん診療関連委員会のメンバーとして熊本県のがん診療の標準化・均てん化を目指して各委員会で積極的に活動している。

- がんセンター長：熊本県がん診療連携協議会幹事会幹事長
- 外来化学療法センター長：熊本県がん診療連携協議会薬物療法部会長、相談支援・情報連携部会員
- がん登録センター長：熊本県がん診療連携協議会がん登録部会長、相談支援・情報連携部会員
- がん相談支援センター長：熊本県がん診療連携協議会幹事会幹事長
- 緩和ケアセンター長：熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会員、相談支援・情報連携部会員

医療人教育の取組

(1) 外来化学療法センター

第15回がん薬物療法セミナー

日時 令和6年2月10日

会場およびWEB開催

1. irAEを考える「熊本大学病院におけるirAEマネージメント」
2. がん薬物療法の合併症を考える「がん化学療法後のHBV再活性化対策：最新エビデンスと今後の展望」
3. がん治療を考える（1）「乳がんの治療について」
4. がん治療を考える（2）「悪性リンパ腫の治療について」

(2) 熊本県院内がん登録研修会

がん登録センターは、熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会の事務局として研修会を企画・運営している。令和5年度は第17回が下記のごとく開催された。

● 第17回熊本県院内がん登録研修会

※日時：令和6年3月2日（土）

※形態：Zoomを用いたWebセミナー（ライブ配信）

※プログラム及び講師：

講義①

院内がん登録の最新情報について

国立がん研究センター がん対策研究所
がん登録センター 院内がん登録分析室

石井 太祐

講義②

泌尿器の解剖・生理・病期分類・多重がんルール

国立がん研究センターがん対策研究所

がん登録センター 院内がん登録室

江森 佳子

(3) 熊本県がん専門相談員研修会

がん相談支援センターは、熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会下部に平成24年度発足した「がん専門相談員養成ワーキンググループ」が主催するがん専門相談員の人材育成のための研修の企画・運営に協力している。

● 熊本県がん専門相談員研修会

<1回目研修会>

※日時：令和5年8月19日（土）9：00～12：30

※場所：Zoomを用いたオンライン開催

※参加者：熊本県内がんの相談に携わっている48名

※内容：「がん患者さんの精神症状について基本を学ぶ」

講義・グループワーク

<2回目研修会>

※日時：令和6年2月17日（土）13：00～16：10

※場所：熊本大学病院

※参加者：熊本県内がんの相談に携わっている33名

※内容：「もっと知りたい在宅医療～考えよう、がん診療連携拠点病院相談員としての関わり～」

講義・グループワーク

(4) 熊本県緩和ケア研修会

緩和ケアセンターは、厚生労働省が定める「緩和ケア研修会 標準プログラム」に準拠した熊本県がん診療連携協議会の会員が主催する緩和ケア研修会の企画・運営に協力している。令和5年度は下記のごとく開催された。

● 熊本県緩和ケア研修会

※日時：令和5年7月30日（日）

※場所：熊本大学病院

※参加者：22名

(5) 熊本県緩和ケアチーム研修会

緩和ケアセンターでは、令和元年度より熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会が主催する熊本県がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームを対象としたチーム研修会の企画・運営に協力している。

令和5年度は、第4回が下記のごとく開催された。

● 第5回 熊本県緩和ケアチーム研修会

※日時：令和5年11月5日（日）

※場所：熊本大学病院

※参加施設：15施設

※参加者：74名

(6) ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修

緩和ケアセンターは、日本ホスピス緩和ケア協会九州支部熊本県看護協会支援委員会が主催するELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修の企画・運営に協力している。令和5年度は下記のごとく開催された。

● 第10回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修

※日時：令和5年12月2日（土）・12月3日（日）

※場所：熊本大学病院 東病棟12階 多目的ホール

※参加者：熊本県内の看護師28名

7. 研究活動

(1) 外来化学療法センター

英語論文14編

全国学会13題

(2) 緩和ケアセンター

英語論文6編

全国学会2題